

那加第三小学校 保護者様

令和3年度 学校評価の結果について

春寒の候 保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、12月に実施しました本校の教育活動に関わる「保護者による学校評価アンケート」では、様々なご意見をいただきありがとうございます。昨年度より「那加中コミュニティスクール」の理念のもと、那加中学校や那加第一小学校と連携した三校共通項目も設定して実施しております。これらの結果を受け、以下のことについて来年度大切にしていこうと考えております。

(1)学校と家庭・地域との連携をより深め、

学校や地域のためにがんばろうとする子を育てます

今年度も那加中学校校区として、あいさつを大切にしてきました。低学年のご家庭からは「自分からあいさつができるようになった。」「あいさつをはずかしがらずにできるようになった。」「近所の方などに大きな声であいさつするようになった」などの声が、高学年からは「地域の方へのあいさつが会釈のみから声ができるようになった。」「あいさつを率先してできるようになった。」など、子どもたちの成長が感じられるご意見をいただきました。しかし、一方で「旗当番の時、返ってくるあいさつが少ない。」「あいさつをしない、声が小さい子が多い。」など登下校での成長に期待するご意見もあります。

今年度あいさつを推進する取組として、学校運営協議会によるあいさつ運動(6月)、あいさつを啓発する花植活動(11月)、また児童会計画委員会によるあいさつ運動を実施しています。11月に本校で行われた公表会では参観者より「どの子もあいさつができ、非常に気持ちがよい。」と多くの感想をいただきました。これらのことから、校内では進んであいさつできる児童が増えていると考えられます。しかし、まだ地域では十分ではないようです。旗当番の方や見まもり隊の方へのあいさつが少ないことは非常に残念です。学校では児童が主体となって活動するあいさつ運動や指導を継続的に行い、あいさつを交わす心地よさを大切に、校内だけでなく地域でもあいさつができる姿を目指します。

コロナ禍である今年度も、出かけて見学したり交流したりする学習が難しい時期が長く続きましたが、地域の方や外部講師をお招きして講話を聞き学ぶ機会を増やしてきました。来年度も活動を工夫し、コロナ禍であっても学校と地域の連携を深める努力をしていきます。

人や地域とかがかわる場、活動を通して、那加三小や地域に愛着をもち、学校や地域のためにがんばろうとする子が育つと考えます。そうした地域とのつながりを増やしていきながら、さらなるあいさつの充実も目指します。

(2)子どもの安心・安全を最優先します

職員の危機管理意識をさらに高めます。有事の際に、地域と連携し子どもを守るために、職員によるシミュレーションを実施します。同時に、子どもたちの「自ら考え自分自身の身を守る力」を高めることも大切にします。そのために、児童自身が自分の身を守ることができるよう、さまざまな場面を想定した「命を守る訓練」を計画・実施し、指導します。また、引き続きコロナ対策に力を入れます。アンケートの結果から分かるように、この1年間子どもたちは感染予防をがんばってきました。今後も学校は常に最新の情報収集に努め、子どもたちが安全に学校生活を送れるよう、対策を講じます。

また、いじめがなく安心して一人一人が輝ける学校にするために、お互いが認め合い、笑顔が生まれる学級・学年づくりをします。人権教育を推進し「よいこと見つけ」を継続して行ったり、道徳の授業で相手の気持ちを考えたりすることを通して心を育てていきます。同時に自分のよさにも気づかせ自己肯定感を高めていきます。年に5回の「教育相談」や「心のアンケート」また「アセス検査(学校環境適応感尺度)」等を実施し、子どもの悩みや不安に寄り添う支援にも努めます。

(3)「わかる授業」「楽しい授業」づくりを進め、学力向上に一層努めます

今年度、どの子も考えをもち、相手によりよく伝えたり豊かに表現したりする力を育ててきました。その結果「自分の意見を言えるようになった。」「挙手発言をがんばっている。」「自分の意見を分かりやすく説明することができている。」といったご意見を保護者の方からもいただきました。来年度も引き続き相手に伝えることを大切にしながら、児童一人一人の主体的に学ぼうとする意欲や仲間との学び合いを大切にして、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組みます。

学校の授業においては、令和4年度から高学年において一部教科担任制が始まります。本校ではすでに教科担任制による授業を一部で導入していますが、各教科等の学習がより専門化する高学年を中心にさらなる教科担任制を進めていきます。

また、今年度より一人一台タブレットが導入されました。ご家庭での見届けや充電等のご協力に感謝申し上げます。考えを交流したり、自分のペースで練習問題に取り組んだりするなど、活用が定着してきました。またコロナ禍であっても学びを止めないための対応策であるオンライン授業も、状況に応じ拡充しました。使用についてのルールを整え、さらに学力の定着と向上、深い学びを目指して有効に活用していきます。

(4)学校の教育活動や子どもの様子をお伝えできるように、さらに工夫します

今年度も、コロナウイルス感染症対策を講じながら授業参観を実施しました。来年度も感染予防をしながらお子様の様子を観ていただくために、以下のように授業参観を実施します。6月と9月には、フリー参観日を設定します。10月は、那加三スポーツフェスティバルを実施します。年度当初に保護者の方と直接お話できる場をもつために、自宅確認訪問の期間には、希望される方と懇談をします。また、参観とコロナ感染予防を両立するために、分散やオンラインの活用等、参観方法を工夫します。

今後学校のホームページに、来年度の主な行事を掲載させていただきます。ぜひそちらもご覧ください。